

## mamenergy messengers

mamenergy messengersとは、「mamenergy project」という既存のプロジェクトを学生の力でもっと大きく広めようとする団体である。「mamenergy project」とは自然エネルギーをみんなの力で日本中に広めようというプロジェクトである。自然エネルギーとは、太陽光発電や風力発電など、発電時にCO<sub>2</sub>を排出しない、もしくはこれ以上増やさないエネルギーのことで、現在問題になっている地球温暖化抑止や、エネルギー自給率の向上に貢献できるとして注目されている。しかし、自然エネルギーは総じて発電コストが高いという問題があり、これを解決するためにプロジェクトではTシャツやカレンダー、賛同アーティストのCDなどの販売価格に寄付金を上乗せして販売し、その寄付金が100万円集まった時点で、自然エネルギー設備を設置するという活動をしている。「mamenergy messengers」は「mamenergy project」の宣伝部隊として、この一年間、助成金を基に活動してきた。

助成金を頂いた後の活動としては主に三つある。

一つ目は2007年7月1日にJR戸塚駅前のペDESTリアンデッキで行われた『明治学院大生×商店街×お寺さん キャンドルナイト×うち水大作戦〜でんきがなくても、楽しめる!〜』でのブース出展である。ここでは小型の太陽光パネルを使ったワークショップを行った。当日は晴天だったため、太陽光発電ができた。そこで発電した電気をノートパソコンとプリンターに接続し、来場者の写真を撮影、はがきに印刷した。そのはがきには一年後の自分へのメッセージを書いてもらい、預かった。ちょうど一年後に届くようにこちらでポストに投函する。その際、200円を頂き、100円ははがき代等とし、もう100円はmamenergy projectを通じて自然エネルギー設備設置に充てた。また、はがきだけでなく、mamenergy projectのTシャツも販売した。

同じ時期に、mamenergy projectでは一枚目の太陽光パネルを埼玉県小川町の農家の屋根に設置した。現在も快調に発電中である。

二つ目は「大学生 ECO ネットワーキング・カフェ in 横浜」への参加である。これは横浜市環境創造局が、環境問題や国際問題に取り組む活動団体（サークル・研究室等）や個人が互いに交流を深める中で、ネットワークを広めていくことを目的とし開催したもので、mamenergy projectについてのプレゼンテーションを行った。他大学や団体に活動をPRするきっかけとなり興味をもっていただいた。

三つ目は白金祭への出展である。「Reople」・「MY-HASHI 普及プロジェクト」・「Yummy」と共に出展したが、mamenergy messengersとしてはmamenergy projectの2008年版のカレンダーを販売した。大学祭に足を運んだ方に活動をアピールすることができたと思う。

これらの活動を通して集まった寄付金額は、太陽光パネル10w分に相当する。これで、150kgのCO<sub>2</sub>を削減できたことになる。これからも自然エネルギー普及のために、様々な活動を行っていきたい。

(国際学部国際学科3年 葛原 信太郎)